

# ロールボックスパレット

## 使う前の5つの基本チェックリスト

ロールボックスパレットを使う時は、次のチェックリストで、基本の作業方法を点検しましょう。あなたや周りの人たち、そしてあなたの運ぶ大切な荷物を守るため、**すべての項目にチェックがついた状態になってから、作業を始めましょう。**

### 作業前点検リスト

確認日	確認担当者名
年 月 日	
<input type="checkbox"/>	<b>倒れそうになったら無理に支えず逃げること</b> 人が支えられる重さではありません。とにかく身を守ることが優先です
<input type="checkbox"/>	<b>停止時は必ずキャストーストッパーを使用すること</b> わずかな傾き、風でもパレットが勝手に走り出すことがあります
<input type="checkbox"/>	<b>原則として、傾いた場所では使用しないこと</b> わずかな傾きでもパレットが思わぬ方向に動き、転倒するおそれがあります
<input type="checkbox"/>	<b>両手で持って運搬すること</b> 片手で引っ張ると、止める時にパレットをコントロールできず止められないことがあります
<input type="checkbox"/>	<b>作業にふさわしい装備をすること</b> 手足の保護だけでなく、しっかりと操作できる装備が不可欠です

#### ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル

### 安全に作業するための

## 8つのルール



とても便利なロールボックスパレットですが、下敷きや手足の負傷による事故などが多発しています。

ロールボックスパレットは、工場でも使われる人の運搬機です。開口部以外の全面がパネルで覆われているため、荷役や荷物の移動を容易に移動できるだけでなく、広範囲で移動機として活用することもできます。このように、搬送の効率化や作業員の負担軽減に貢献する、とても便利な一方で、多くの労働災害も発生しています。

主な労働災害の原因は、ロールボックスパレットの構造、あるいは作業方法が多岐にわたります。その中でも、下敷き負傷、また、クガれた下敷き負傷の割合が作業総量1千本に達したことから、作業に不慣れな結果での発生が主な原因です。

このパンフレットでは、ロールボックスパレットを安全に「守ってほしい」8つのルールを紹介しています。ぜひ、図説に合わせて、安全に作業を行ってください。



作業者に身につけてほしい望ましい装備例



パンフレット「ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル安全に作業するための8つのルール」も**ご確認ください。**



テールゲートリフターのチェックリストは裏面へ▶

